中学校社会科地理的分野学習指導案（訂正版）

花房 瞳
勝田 瑠理
横山 遥

1. 単元 「アジア」
2. 単元計画
 - 「朝鮮半島」（1時間）
 - 「中国」（1時間）
 - 「東南アジア」（1時間）…本時
 - 「南アジア」（1時間）
 - 「西アジア」（1時間）
 - 「中央アジア」（1時間）
3. 本時の主題 「地域統合から見た東南アジア」
4. 本時の目標
 - (1) 経済的な地域統合を進めている ASEAN の目的や現状と、日本との経済的な結びつきのようなすを記述できる。
 - (2) (1) を達成するために、地理的技能を使って、表やグラフ、地図、写真の読み取りができる。
 - (3) (1) の知識を活用して、ASEAN の特色について説明できる。

	教師の発問・指示	教授学習活動	資料	学習内容	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・この旗はなんでしょう ・この3つの色はそれぞれ何を示しているでしょう ・黄色のマークはなんでしょう ・何本あるでしょう ・東南アジアの位置と自然・気候について理解させる ●ASEAN とはなにか 	<p>T：発問</p> <p>S：答える</p> <p>T：説明</p>	<p>① 写真</p> <p>② 地図（東南アジア）</p> <p>③ 写真（ASEANの旗）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ASEANの旗 ・青が平和、赤が勇気、白が純粋 ・稲を表している ・10本で結束している ・赤道直下にあることを理解させ、それにより降水量が多く、稲作が盛んである。 ・ASEANは10か国からなる機構である。経済・社会・政治・安全保障・文化に関する地域協力機構である。 	自由に発表させ、さらにイメージを広げさせる
展開1	<p>○ASEANは世界から見てどのくらいの経済力があるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ASEANは何を目指しているか ・GDPランキングをみて、分かったこと、疑問に思ったことをグループで話し合う。 	<p>T：説明する</p> <p>T：④をもとに考察する</p> <p>T：発問する</p> <p>S：ワークシートに考察し発表する</p>	<p>④ 表（協定）</p> <p>⑤ 表 GDPランキング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ASEAN内では後発国への配慮もあり関税を低く設定、手続きの簡素化などが行われており、ASEAN内での物品や金の行き来の自由が推進されつつある。 ・10か国でみると先進国一か国と同じGDP ・1人あたりは少ない ・人口が多い割にはGDPが低い 	<p>用語説明に時間をかけないようにする</p> <p>グループワークがスムーズに進むよう役割分担を事前に明確にしておく</p>

<p>展 開 2</p>	<p>○ASEAN と日本にはどの ようなつながりがあるだろ うか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジアにある日本 企業を見てみよう (マツ ダに焦点化) ・ ASEAN のどこの国にあ るか ・ どの時期から ASEAN で 生産が開始されたか ・ どんな車をつくっている か ・ その工場を作るために誰 がお金をだしているか ・ この図から気づくことを 出してみよう 	<p>T: 発問する S: 考察する</p> <p>T: 発問する S: 考察する</p> <p>T: 資料提示</p> <p>T: 説明する</p> <p>T: 発問する S: 考察する</p>	<p>⑥ 表 (マツダ 生産拠点)</p> <p>⑦ 写真 (車)</p> <p>⑧ 表 グラフ (企業数)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイ・ベトナム・マレーシア ・ タイが 1998 年, ベトナムが 2011 年, マレ ーシアが 2012 年 ・ タイがデミオ・アクセラ・BT-50, ベトナ ムがデミオ・アクセラ, マレーシアがアク セラ ・ タイではマツダが 50%, フォードが 50% (現地の人は出していない)。ベトナムでは現 地で 100%。マレーシアではマツダが 70%, 現地で 30% ・ 日本と ASEAN の間には深い結びつきがあ る。しかし, 偏りが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾は ASEAN に 所属しない ことを地図 帳で確認さ せる ・ 表の読み方 を丁寧に教 える
<p>展 開 3</p>	<p>○なぜ日本と東南アジアの つながりには, 地域によっ て差があるのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 P17 の ASEAN に おける経済格差のグラフ と比較して相違点をみつ けよう ・ 一つずつ予想してみよう 	<p>S: 考察する</p> <p>S: 予想する T: 説明する</p>	<p>⑨ グラフ (ASEAN における経 済格差のグ ラフ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブルネイは企業数が少ないが発展してお り, ベトナムは企業数が多いが後発である ・ ブルネイ: 国土が狭く, 石油収入が多いた め企業を多く受け入れていない ・ カンボジア・ラオス: 内戦により治安がよ くないため進出しにくい ・ ミャンマー: 民主化が進んでいない 	<p>旗をつかって 分かりやすく 説明する</p>

<p>展 開 4</p>	<p>○ASEAN の地域統合の段階はどの程度だろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 P15 の A を読んで、ASEAN はホップ・ステップ・ジャンプのどれになるか考えよう なぜステップには届かないのか 教科書 P15 の B を読ませ EU の説明をする 	<p>T: 発問する S: 考察する T: 説明する</p>		<ul style="list-style-type: none"> ASEAN は第一段階の、経済的な共通政策を設けてまとまる段階である。一般には関税政策から始まる。(ホップ) 政治体制, 宗教, 言語, 文化の違いや, 経済格差が大きすぎるから EU は, 第二段階の政治・経済的な地域統合のレベルである 	
<p>終 結</p>	<p>●ASEAN とはなにか</p> <ul style="list-style-type: none"> ASEAN とはどんな組織なのか, EU と比較して説明しよう 	<p>T: 発問する S: 考察する</p>		<ul style="list-style-type: none"> 空間的に隣接した国家グループ。 チームになれば, 一つの先進国のみ。 政治統合が進んでいないために EU には及ばない。経済的な共通政策を始めたばかりのよちよち歩きの組織。 	